

## 少子化対策について

平成十七年十二月二十二日（木） 閣僚懇

内閣府特命担当大臣（少子化・男女共同参画） 発言要旨

人口減少社会を目前に控え、今や少子化対策は極めて重要な政策課題です。少子化対策の効果的な推進には地方自治体との緊密な連携は必須であり、私自身が各地方ブロックを往訪し、県知事など各自自治体のトップの方々と意見交換を行うこととしました。去る十八日（日）の第一回の九州ブロック会合では、各知事から多くの実効ある取組や国への要望をいただきました。今後、来年五月頃までに全国の全ブロックで開催していきたいと考えています。

少子化対策の推進には、子どもに寄り添った視点で施策を推進する必要があると思います。子どもは国の宝であり、子どもが犯罪、病気及び災害から自由になるよう、子どもの安全が確保され、子どもが最大限の医療を受けることができ、子どもが社会的弱者であることに配慮した視点での取組が重要であると考えています。

今後、少子化対策については、総合調整を任務とする内閣府特命担当大臣として、ブロック会合で頂いた御提言も参考に、このような視点を持ちつつ、「少子化社会対策推進会議」を活用して戦略的に検討していく所存です。平成十九年度予算編成を通じて各施策にも反映されるよう、来年六月を目途に同推進会議の議論をとりまとめたいと考えており、関係閣僚各位の一層の御協力と御支援をお願いします。